Doc. No.	900328-06

取 扱 説 明 書

DC-77　ドレンカート

MODEL No.　880577　DC-77P
851634　DC-77S

⚠ 警 告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本機が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願して、正しい使用方法と使用上の注意について説明したものです。
この説明書を読む前に、本機の操作は行わないでください。
特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。
尚、ご使用中にご不明の点、不都合などがありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

★ 取扱説明書、注意ラベル等を汚損、損失した場合には、速やかにお買い上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目 次

1. 使用目的---------- 1
2. 警告・注意事項---------- 1
3. 使用上の注意事項---------- 1
4. 各部の名称
   4-1 梱包内容---------- 2
5. 使用前の準備---------- 2
6. 使用方法---------- 2
7. 廃油移し替え作業---------- 3
8. 保守・点検
   8-1 故障の点検とその対策---------- 4
   8-2 保守 ---------- 4
   8-3 分解・組立---------- 4
9. 部品分解図・パーツリスト ---------- 6
10. 仕様
   10-1 諸言---------- 6
11. 保証規定---------- 7

1. 使用目的

本機は、全高 205mm のオイルドレンです。
2 トン車から大型車までのトラックのデフオイル、ミッションオイルなどの廃油の抜取りが、リフトアップをしないで行えます。
タンク容量は 77L、大型車にも余裕の容量です。付属のポンプでタンク内に溜まった廃油の排出・圧送が行えます。

2. 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。
表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告

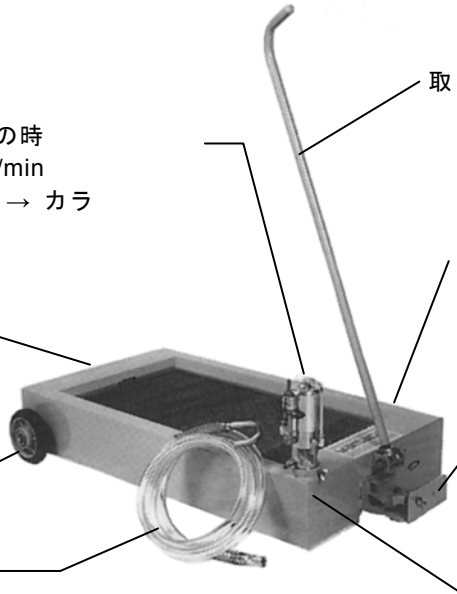
・本機で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。
廃油の処分は、適用される法規に従って処理してください。

・本機は操作の性質上高温の廃油を取扱う事があります。充分に注意し、ヤケドを負わない様にしてください。

⚠ 注 意

・作業中及び作業終了後は、不用意に動かない様、必ずキャスターのストッパーを確実にロックしてください。斜面などで本機が動きだし物的事故、またはオイルが流出し、施設を汚染するなど二次災害については、使用者側の責任になります。

4. 各部の名称



排出用ポンプ
ポンプ性能
供給空気圧：0.3 MPa の時
吐 出 量　：10～13 L/min
77 L 満タン→ 約 6 分 → カラ

取 手

77 L タンク

ドレン受け
長さ 755 mm
幅　405 mm

ポンプブラケット
排出ポンプを受座に取付けたままですと、全高 205mm の低さが失われますので、ポンプを使用しない場合はポンプブラケットに収めてください。

三点車輪

排出用ビニール
ホース 4m

排出用ポンプ受座

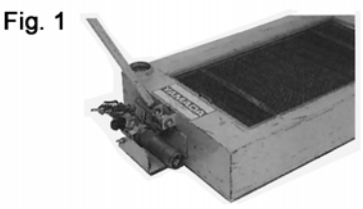
4-1 梱包内容

本機 DC-77P は、タンク組立、ホース組立、取手を木枠にて梱包してあり、ポンプ組立は、段ボールケースにて梱包してあります。各々の梱包を開梱し、タンク組立、ホース組立、取手、ポンプ組立等の損傷、並びに付属品の有無を確認してください。

5. 使用前の準備

油槽組立の取手固定部に、取手を右図の様にねじ込んで接続してください。（Fig.1）

Fig. 1



6. 使用方法

⚠ 警 告

・本機で取扱う廃油は、地面などに直接排出しないでください。
廃油の処分は、適用される法規に従って処理してください。

⚠ 注 意

・本機は、ミッション・エンジン・デフオイルの廃油専用です。ブレーキオイルには絶対に使用しないでください。

・作業中及び作業終了後は、不用意に動かない様、必ずキャスターのストッパーを確実にロックしてください。

1) ドレンカートは三輪車です。移動の時は牽引して、ドレンロに合わせる時は押して合わせると容易に方向を決める事ができます。(Fig.2)
2) デフの場合は、ドレンプラグが真下よりやや斜めにある場合が多いので、ドレン受けはややずらして、プラグを外したとき正確にオイルが受けられる位置にセットするよう注意してください。(Fig.3)
3) 車検等で多量のオイルを抜く場合は、途中でオーバーフローのない様、あらかじめドレン受けのフィルターを取って残量を確認してから作業を行ってください。

Fig. 2

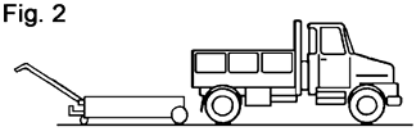
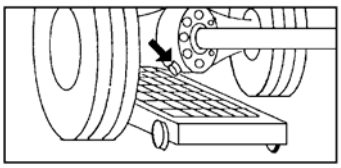


Fig. 3



7. 廃油移し替え作業

満タンになった廃油を排出するときは、排出用ポンプによって行います。
排出作業を行う前にポンプのセットを行ってください。

⚠ 注 意

- ポンプへ供給エア圧力は、必ず 0.7MPa 以下で使用してください。
- 元圧が 0.7MPa 以上の場合は、エアレギュレーターを別途購入し､0.7MPa 以下に減圧してご使用ください。

1) 廃油タンク側面に固定されているポンプを、ドレン受け横にある丸い穴に差し込み、蝶ボルトで固定してください。(Fig.4)
2) 付属の排出用ホースをポンプ吐出口に差し込み、廃油ホースノズルを廃油用ドラム缶に引っ掛けてください。(Fig.5)
3) コンプレッサーからのエアホースを、ポンプエア供給口のエアチャックにつなげてください。この時バルブは閉じておいてください。(Fig.6)
4) 廃油吐出口、エア供給口のカプラーの接続状況、廃油ホースノズルのセット状態を確認してエアホースのバルブを開いてください。ポンプが作動し、廃油を排出します。
5) 廃油用ドラムが満タン、またはポンプを途中で停止したい場合は、バルブを閉じますと、ポンプは自動的に止まります。
6) 廃油タンクがカラに近くなりますと、ポンプの空打ち状態になり、作動が速くなりましたら、直ちにポンプの作動を停止してください。
7) 廃油排出作業が終了しましたら、ポンプ組立を取外し、ポンプブラケットに収納してください。(Fig.7)

Fig. 4

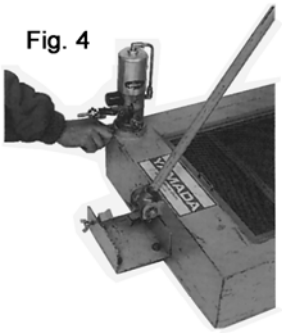


Fig. 5

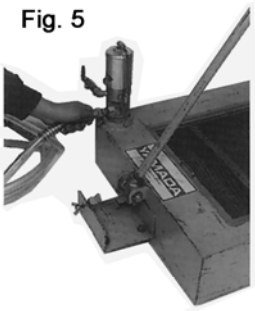
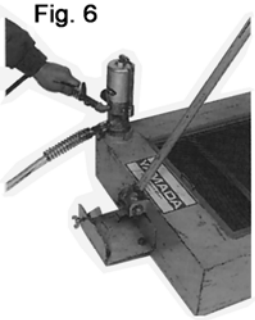


Fig. 6



<使用例>

Fig. 7

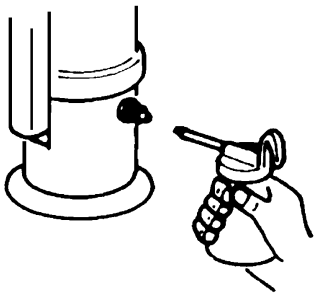
8. 保守・点検

8-1 故障の点検とその対策

状　　況	点　検　方　法	対　　策
ポンプが作動しない	供給エアは正常か →	0.3～0.7MPa の間でエアの調整
	（吐出し側のホースを外して、ポンプを作動させる） 作動すればホースノズルのつまり 作動しなければ、ポンプの故障 →	サービスを依頼してください
ポンプは作動するが廃油が出ない	下ポンプの故障 →	分解・点検
廃油が出るが流量が少ない	下ポンプの故障 →	分解・点検
ポンプが動きっぱなしで止まらない	下ポンプの故障 →	分解・点検
エア排気口から廃油がたれる	パッキンの摩耗 →	パッキン交換

8-2 保守

・ポンプのルブリケーションのため、10 日に一回程度潤滑油の注入を行ってください。
　潤滑油の注入は以下のように行います。
　1）エア供給口に右の図のように潤滑油を数滴（約 0.5mL）注入します。
　　潤滑油はタービン油 1 種 ISO（VG-32）または相当をご使用ください。
・ドレン受けのフィルターが目づまりしたまま使用しますと、廃油の流れが悪くなり、ドレン受けからオーバーフローしてしまいます。時々、取外して清掃してください。
・本機は、廃油等によって汚れやすいので、常に清掃に心がけてください。



8-3 分解・組立

エアモーターは、極めて故障が少なく特に分解の必要はありません。
もし分解の必要が生じた場合は、弊社指定サービス店に依頼してください。

⚠ 警 告

・ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。

⚠ 注 意

・本機の分解・点検を行う場合は、必ず供給エアを止めて出口を開き、本機内の圧力を抜いてから行ってください。

・部品を洗浄の際、アルミ銅合金・鉄等を腐食する様な液体は使用しないでください。

[下ポンプの分解]

1) ポンプ内の圧力を抜いて、エアチャック・排出用ホースをポンプ組立から取外してください。

2) ポンプ組立を固定している蝶ボルトをねじ戻しますと、ポンプ組立を取出せます。

3) エアモーター本体部をバイスに固定し、サクションチューブのローレット部にパイプレンチをかけ、ねじ戻し外してください。(Fig.8)

4) サクションチューブを少し引き離すと、エアモーターとロッドを接続しているユニオンが出てきます。ピンを抜きねじ戻し取外すと、エアモーターと下ポンプが分離できます。(Fig.9)

5) サクションチューブ内よりプランジャー組立を引き出し、椀型パッキン･ボールバルブを分解し､さらにアダプター組立を分解してください。(Fig.10)

6) 各部品を洗浄・点検し、キズ・摩耗があれば新品と交換してください。

7) 再組立は、分解と逆の順序で行ってください。

Fig. 8

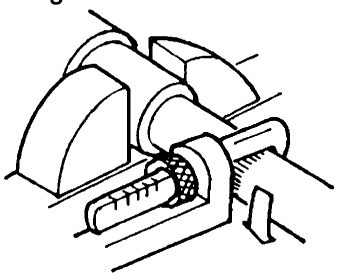


Fig. 9

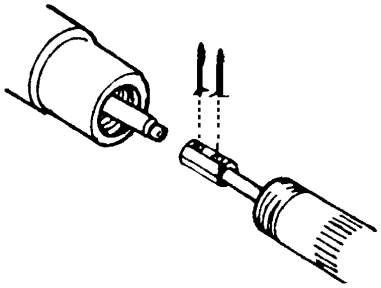
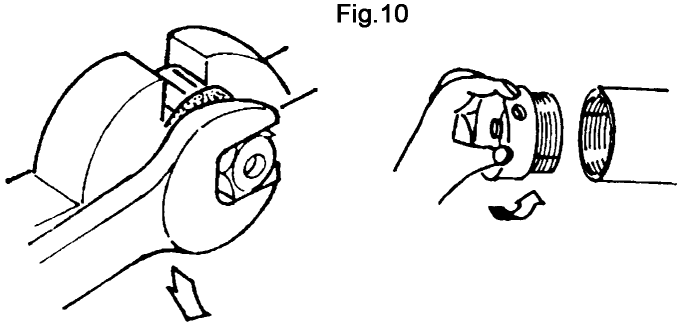


Fig.10

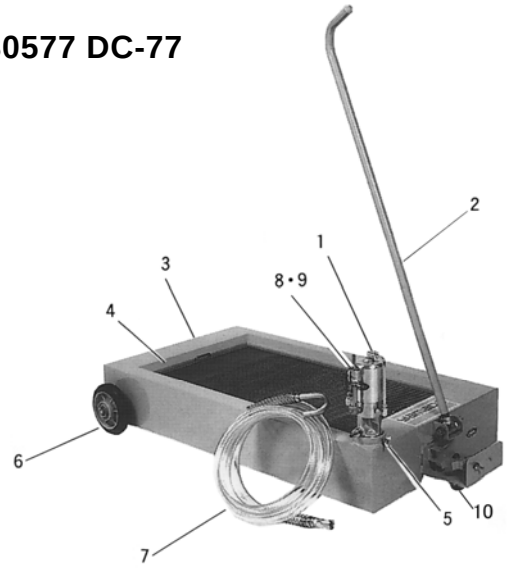


[エアモーターの分解]

エアモーター部は、組立の際の調整が難しいため 4 頁の（保守・点検）の項でエアモーターの故障と判断した場合は、お買い上げ販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

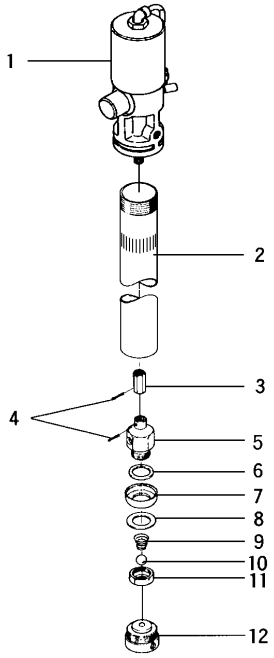
9. 部品分解図・パーツリスト

880577 DC-77



NO.	部品番号	部　品　名　称	員数
1	851635	ポンプ組立	1
2	831120	取手	1
3	831347	廃油タンク	1
4	831348	フィルター組立	1
5	610620	蝶ボルト	1
6	682586	車輪	2
7	801793	排出用ホース	1
8	682771	バルブ	1
9	680743	口金	1
10	681860	キャスター	1

851635 ポンプ組立



NO.	部品番号	部　品　名　称	員数
1	801795	エアモーター	1
2	709874	サクションチューブ	1
3	704533	ユニオン	1
4	632039	割ピン	2
5	702772	プランジャー体	1
6	702773	座金	1
7	770292	椀型パッキン	1
8	702774	座金	1
9	702776	スプリング	1
10	630324	ボール	1
11	702775	袋ナット	1
12	831346	アダプター組立	1

10. 仕様

10-1 諸元

製品番号	型　　式	容　量	外観寸法	質　　量	標準付属品
880577	DC-77P	77 L	全高： 205mm 全巾： 693mm	32.5 kg	851635　ポンプ組立・・・1 801793　排出用ホース・・1
851634	DC-77S		全長（ﾀﾝｸ）: 1131mm	28.0 kg	

※851634 DC-77S は、ポンプ組立無しです。

ポンプ性能

ポ　ン　プ	吐出圧力	吐　出　量	使用エア圧	エア消費量
851635 ポンプ組立	0.9 MPa	11 L/min	Max. 0.7 MPa	130 L/min（ANR）

お　願　い

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
弊社では、お納めした製品のアフターサービス徹底のため**「ご愛用者登録」**による保証制度を採用しております。
お手数をおかけいたしますが、添付の**「製品保証登録 FAX シート」**に必要事項をご記入の上、弊社宛にご送信ください。弊社にて受信後、下記記載の保証を履行させていただきます。
尚、ご送信がない場合、および記入事項に漏れ等がある場合には、保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご送信ください。
また、本制度は日本国内においてのみ有効です。

11. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず、保証期間内に万一弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１ヶ年を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。
ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。
2.保証内容：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
(1) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮空気を動力として使用したり、あるいは空気以外の気体、液体を動力として使用された場合に発生した故障。
(2) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(3) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(4) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液体を使用されて生じた故障。
(5) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(6) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(7) O-リング、パッキン等の消耗部品の摩耗。
(8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。
尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
・ホース類　・各種パッキン類　・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。
製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

(控)

型　　式	
製 造 番 号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143−8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−4101（代）	FAX（03）3777−3328
札幌営業所	〒062−0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL（011）821−0630（代）	FAX（011）821−0949
東京営業所	〒143−0025 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL（03）3777−3171（代）	FAX（03）3777−6770
名古屋営業所	〒463−0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL（052）795−0222（代）	FAX（052）795−0444
大阪営業所	〒537−0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL（06）6971−5301（代）	FAX（06）6974−0497
福岡営業所	〒812−0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL（092）581−5477（代）	FAX（092）581−6524
相模原工場	〒229−1112 神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号		

YAMADA　AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA	TEL 1−847−631−9200
YAMADA　EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50−7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31−0−74−242−2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区张江高科技园区松涛路 674 弄 9-11 号 3 号楼 1 单元	TEL 86−21−3895−36

201003 900328